

流域の概要

- 手城川流域では、地形的要因や近年多発する局地的豪雨により、多くの浸水被害に見舞われており、**最近5年間で4回の浸水被害が発生**
平成30年7月豪雨では床上36戸、床下25戸の浸水被害が発生
- 近年の局地的豪雨の顕在化、家屋浸水被害の多発
福山市での時間雨量50mm以上の発生回数は、
 - ・S54～H10の20年間での発生回数は1回
 - ・H11～H30の20年間での発生回数は4回 → **4倍**
- 市街地の拡大により、**流出量が増大** → 浸水危険度が増大
 - ・流域内人口 72,474人 (S62) → 95,090人 (H30) → **約1.3倍**
 - ・河川整備 (計画1/50)
 - ・下水道整備 (雨水：計画1/7)



浸水被害の主な要因

- 流域の市街化が進み、雨水の流出量が増大
- 下流から河川改修を進めているが、計画区間の整備が完了するまでは時間を要するため、中流部、上流部で排水が困難
- 地形的な要因により河川改修だけでは効果が乏しい
⇒流域における治水対策を**関係機関が一体となり効果的に組み合わせ**推進する必要がある

総合的な治水対策について、国土交通省・広島県・福山市・土地改良区からなる「福山市域における浸水対策協議会」で検討

福山市域における浸水対策協議会 (H30.8.23設立)

組織	部局
国関係	国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所
県関係	広島県 東部建設事務所
市関係	総務局, 市民局, 建設局, 上下水道局
その他	福山市土地改良区, 深安郡神辺町土地改良区

- 河川・下水道整備における相互連携検討
- 流域対策の物理的な効果の検討, 評価
- 総合的な治水対策について、様々な視点で検討・評価

取組内容

- 河川・下水道
 - ・河川改修, 排水機場ポンプ増設・雨水幹線整備, 雨水ポンプ場整備
- 流域対策
 - ・公共用地等を利用した雨水貯留施設の暫定整備, 既設雨水貯留施設(農水兼用)やため池の低水位管理, 雨水貯留・排水施設の重点的管理による能力確保・保持
- 危険情報周知・水防活動
 - ・Webを利用した監視カメラ画像・水位情報の提供, 警戒パトロール実施による注意喚起
 - 洪水ハザードマップの全戸配布, 内水ハザードマップの作成・公表
 - 市民と行政が一体となった「総合防災訓練」等の実施

取組効果(目標)

・H29年9月及びH30年7月の降雨に対し、手城川流域における床上浸水を解消、家屋浸水の軽減を図る

	雨量(mm)		浸水被害状況	
	24h	60分	床上(戸)	床下(戸)
平成7年7月	120.0	41.0	3	259
平成20年7月	46.0	25.0	38	86
平成28年6月	148.0	28.0	9	39
平成29年7月	120.0	36.0	2	6
平成29年9月	69.0	50.0	2	1
平成30年7月	243.0	29.0	36	25

平成30年7月浸水状況

